

事業評価票（執行体制の見直しを伴う事業）

1	中央図書館の運営	所管部署	教育庁中央図書館	26年度予算額	326,333 千円
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館は調査・研究を支援するため、図書約188万冊、雑誌約7,000種、新聞約1,000種を所蔵し、レファレンスサービス等の各種図書館業務を行っている。 				
成果・課題等	<ul style="list-style-type: none"> より効率的な運営を行うためには、常勤職員の業務補助を行う人材の確保が必要となる。 				
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> 図書等資料の整理業務やデータの維持管理、企画展示の運営等を補助する非常勤職員を配置し、常勤職員が選定判断や質問回答、窓口業務といった専門性の高い業務に専念できる体制を構築することで、常勤体制の定数を見直しつつサービス水準の向上を図る。 	拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
27年度見積額		342,610 千円			
(定数見直し効果)		△23,421 千円			
人事部評価	<ul style="list-style-type: none"> 図書等資料の整理業務やデータの維持管理、企画展示の運営等の業務において、業務の専門性や効率性の観点から、職員の業務分担の見直し等により非常勤職員を活用することは、図書館サービスの向上及び効率的な図書館運営に資すると認められるため、妥当である。 	執行体制の見直し			
職員定数		新たな体制			
△3人		非常勤6人			
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> 図書館運営の効率化とサービス向上のため、運営体制を見直すことは適切であり、常勤職員の定数見直しによる人件費削減効果も、非常勤職員の活用によるコスト増を上回っている。 その他の経費も、所要の見直しが図られており妥当であるため、見積額のとおり計上する。 	拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
27年度予算額		342,610 千円			
(定数見直し効果)		△23,421 千円			